



# 2025年9月期 第1四半期 決算説明資料

2025年2月13日  
アイビーシー株式会社

© Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd. All rights reserved.



証券コード 3920

# 2025年9月期 第1四半期 業績

## ● 第1四半期 ハイライト

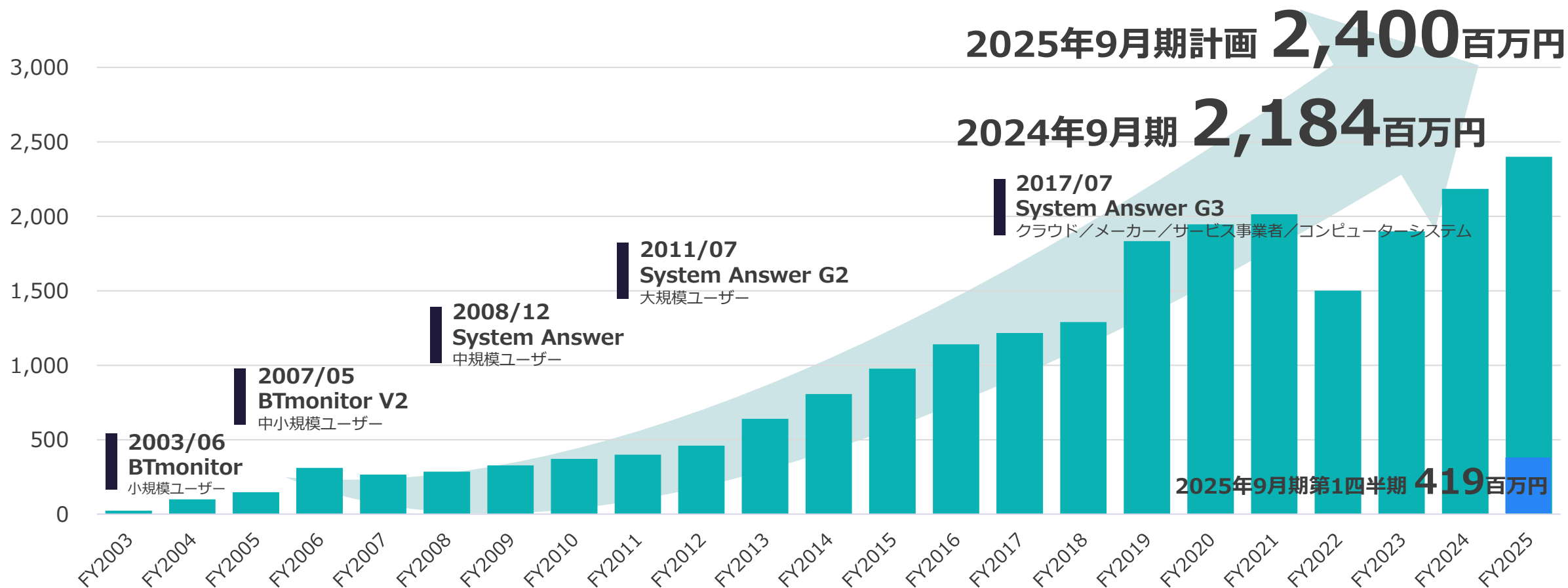
- 売上高は前年同期比7%増となり、第1四半期として過去最高を記録。
- 営業利益は前年同期比31百万円増、純利益は前年同期比18百万円増で大幅に伸長。
- 販管費は計画内で進捗。
- スtock売上比率は72%で安定。
- システムアンサー更新率は98%となり、高水準で推移。

※前年同期比の前年は連結で計算

売上高	営業利益	純利益
<b>419百万円</b> 前年同期比7%増	<b>13百万円</b> 前年同期比31百万円増	<b>10百万円</b> 前年同期比18百万円増
販管費	ストック売上比率	システムアンサー更新率
<b>301百万円</b> 前年同期比10%増	<b>72%</b> 前年同期比 増減なし	<b>98%</b> 前年同期比 増減なし

# ● 業績推移

- 創業から右肩上がりの成長を継続。
- 2024年9月期売上高は過去最高を達成。2025年9月期は更なる拡大を計画。



# ● 第1四半期 業績

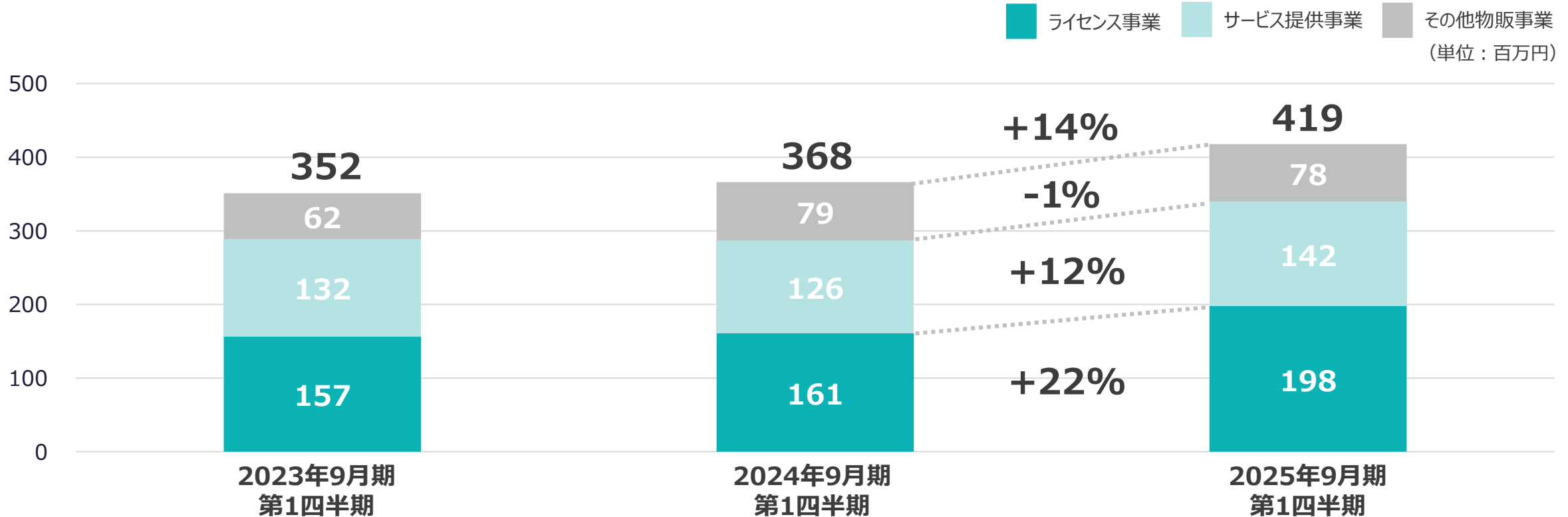


(単位：百万円)

	2024年9月期 第1四半期実績	2025年9月期 第1四半期実績	2025年9月期 通期業績予想	進捗率
売上高	393	419 前年同期比7%増	2,400 前期比10%増	17%
営業利益	-17	13 前年同期比31百万円増	450 前期比18%増	3%
純利益	-8	10 前年同期比18百万円増	358 前期比42%増	3%

# ● 第1四半期 売上高（単体）

- 主力のライセンス販売事業は前年同期比22%増と大きく伸長。
- サービス提供事業は注力してきたソリューション販売が着実に売り上げ、前年同期比12%増。



# ● 販売形態

- 販売形態は約40%が直販、約60%がパートナー企業の販売。
- 導入実績は1,000社以上。
- パートナ企業は、主に大手ベンダー様。大手企業、自治体等に導入いただく例が多い。

事業のDXを支える、ITインフラの健全性を獲得！

～ 年間のネットワーク負荷傾向とユーザー利用状況を予測し、トラブルを未然に防止 ～

System Answer G3 製品部



**ダイキン工業株式会社 / ダイキン情報システム株式会社**  
 1924年に大阪で創業して以来、ダイキンは、空調事業を中心に、世界160カ国以上で事業を展開している。社会や地域が抱える課題の解決、そして、事業の成長。この2つの両立で人々の健康と快適を支え、空気と環境の新しい価値を創るグローバル企業として、世界中の期待と信頼に応え続けていく。




**設立** 1934年2月11日  
**資本金** 85,032,436,655円  
**従業員数** 単独7,732名、連結84,870名  
 (2021年3月31日現在)  
**所在地** 大阪府北区中崎西2-4-12  
 梅田センタービル  
**事業内容** 空調・冷凍機、化学、油機、特機、電子システム

運用支援の最大活用で的確なシステム改善を実現する

～ ボトルネックの早期発見と事前対処を実現し、IT障害ゼロを目指す ～

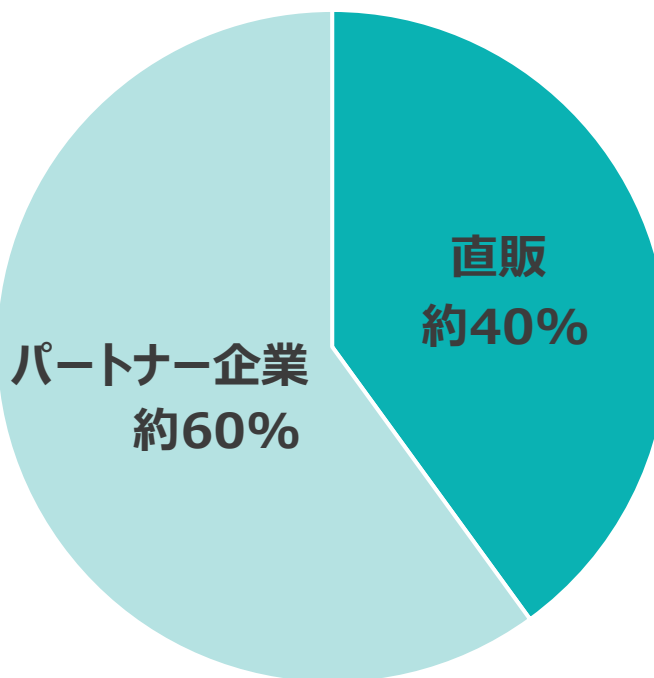
System Answer G3 製品部



**マックス株式会社**  
 マックス株式会社は、釘打ち機、ガンタック、ねじ打ち機、ステーブルなどのインダストリアル機器とホットキスなどのオフィス用品および車いすなど福祉用品を製造販売するメーカー。「世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする」というコーポレートビジョンのもと、使う人が満足するモノづくりにこだわり、国産初となるホットキスをはじめとする文具・オフィス機器、釘打ち機や鉄筋結束機をはじめとする建築建設工具を基盤に、浴室暖房・換気乾燥機など住環境機器、車いすなどの介護福祉機器へと事業を拡大している。



**設立** 1942年11月26日  
**資本金** 123億67百万円  
**従業員数** 連結2,508人  
**所在地** 東京都中央区日本橋箱崎(本社)  
 群馬県佐波郡玉村町(システム統括部)



年々増加するサイバーセキュリティリスクに対応するため、

IT資産の脆弱性対策を「診断」から「管理」へ切り替え、一歩進んだ対策を推進

ソリューション 製品部



**シチズン時計株式会社**  
 シチズン時計株式会社は、「市民に愛され市民に貢献する」を企業理念として創業から100年以上の歴史を持つ時計メーカーです。様々な分野のグループ企業を持つシチズングループの中核企業であり、各種時計類およびその部品の製造・販売等を行っています。



**設立** 1930年5月28日  
**従業員数** 14,817名(連結/2024年3月31日時点)  
**所在地** 東京都西東京市田無町6-1-12(本社)

障害切り分けと設備投資のための明確なエビデンス

～ 大規模社内インフラシステムの予兆検知、障害調査、安定稼働を実現 ～

System Answer G3 情報通信部



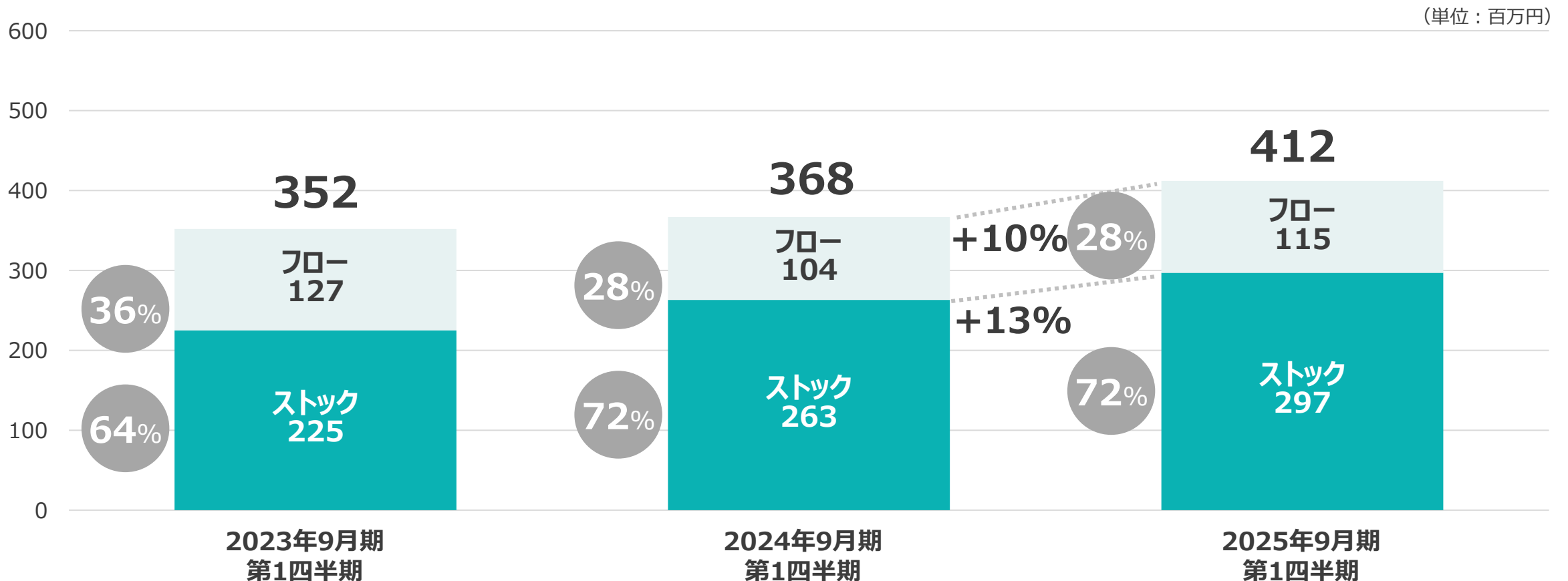
**TIS株式会社**  
 TIS株式会社は、ビジネスを支える基幹システムから、高い競争力を生むアプリケーション、さらにはシステムの基盤となるプラットフォームまで、幅広い業界・分野でITサービスを提供する総合ITサービス企業である。長年にわたって培ってきた経験と技術により、常にお客様の経営課題を把握し、潜在的なニーズを先取りしたサービスをお届けすることで、お客様のデジタルビジネス変革に貢献する。



**創業** 1971年4月28日  
**資本金** 100億円  
**従業員数** 連結21,817名、単体5,838名  
 (2021年3月31日現在)  
**所在地** 東京都新宿区西新宿8丁目17番1号  
**事業内容** コンサルティングサービス、システムインテグレーションサービス、アウトソーシングサービス、IT基盤構築サービス、先端技術の研究と提供

# ● 第1四半期 ストック売上比率（単体）

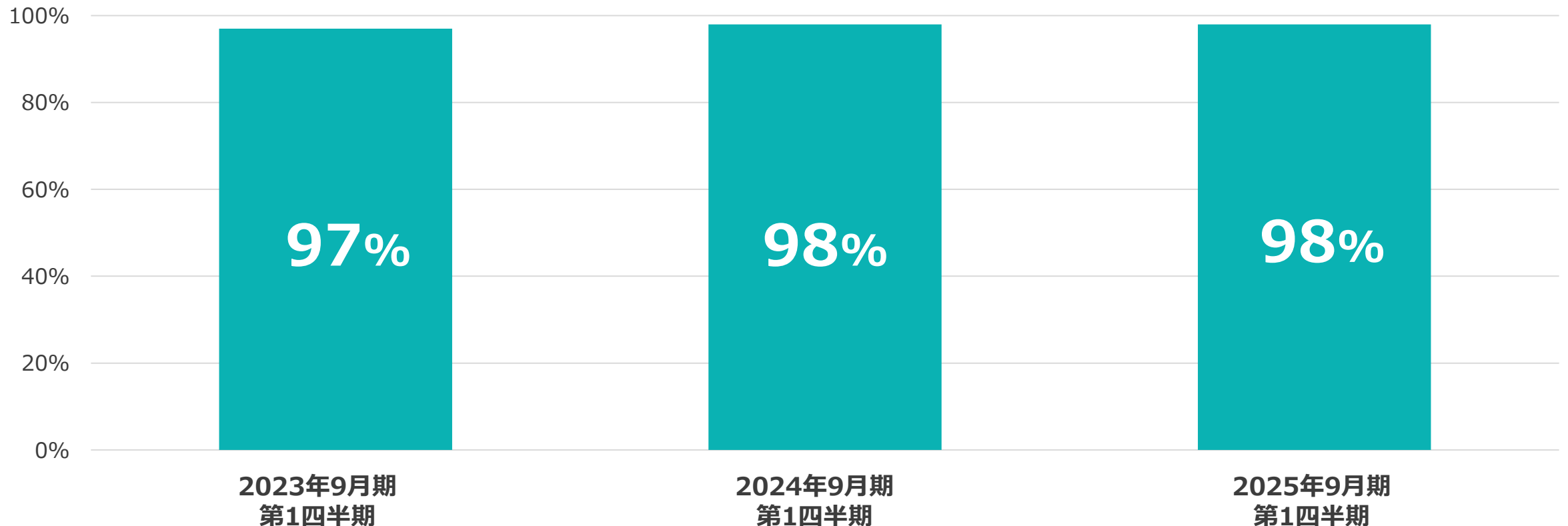
- 第1四半期のストック売上比率は前年同期の72%を堅持し、安定した収益構造を維持。
- ストック売上は前年同期比13%増。





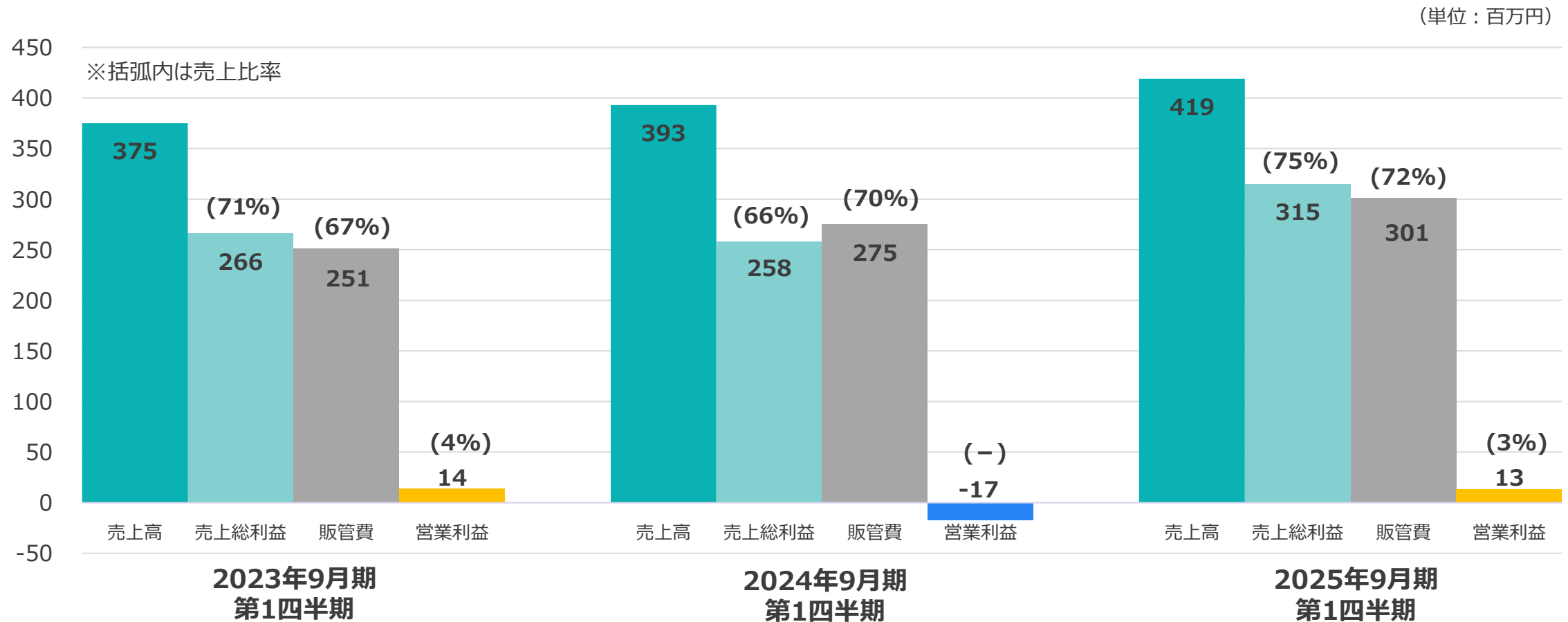
## ● 第1四半期 システムアンサー更新率

- 第1四半期のシステムアンサー更新率は、98%の高水準で進捗。
- 長期的に安定した収益を実現。



# ● 第1四半期 営業利益

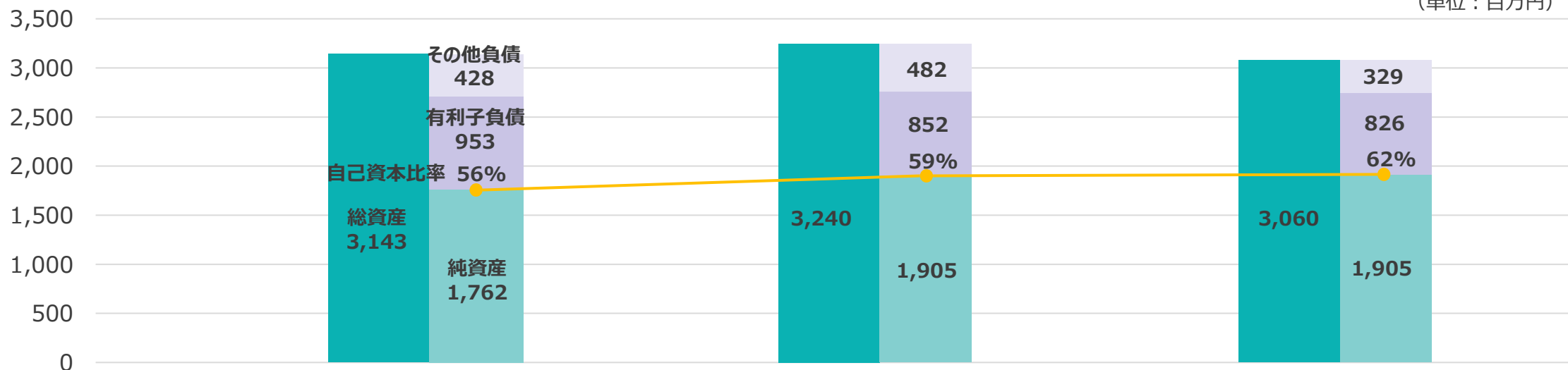
- 売上増および売上総利益率が向上し、売上総利益は前期より大幅に増加。
- 管理会計の導入および販管費が計画内で進捗し、営業利益が改善。



# ● B/S・自己資本比率（単体）

- 継続的な収益の積み上げと有利子負債の減少によって自己資本比率が徐々に上昇。
- 健全な財務体質を維持。

（単位：百万円）



	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期第1四半期
総資産	3,143	3,240	3,060
有利子負債	953	852	826
その他負債	428	482	329
純資産	1,762	1,905	1,905
自己資本比率	56%	59%	62%

# ● 第1四半期 純利益／株主還元

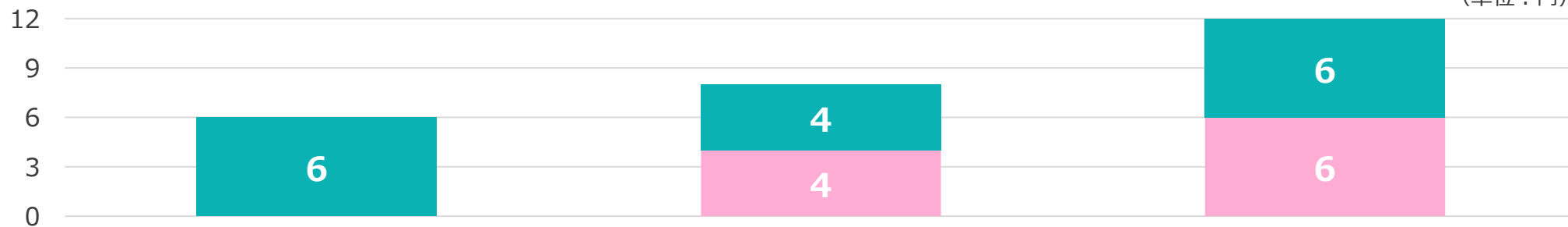
- 売上高の増加、売上総利益率の向上により、純利益は前年同期比18百万円増。

(単位：百万円)

	2023年9月期第1四半期	2024年9月期第1四半期	2025年9月期第1四半期	2025年9月期 通期計画
純利益	連14	連-8	単10	単358

- 株主様への利益還元を経営の最優先事項とし、2025年9月期より累進配当を実施。
- 2025年9月期は、中間6円/期末6円の年間12円の配当予定。

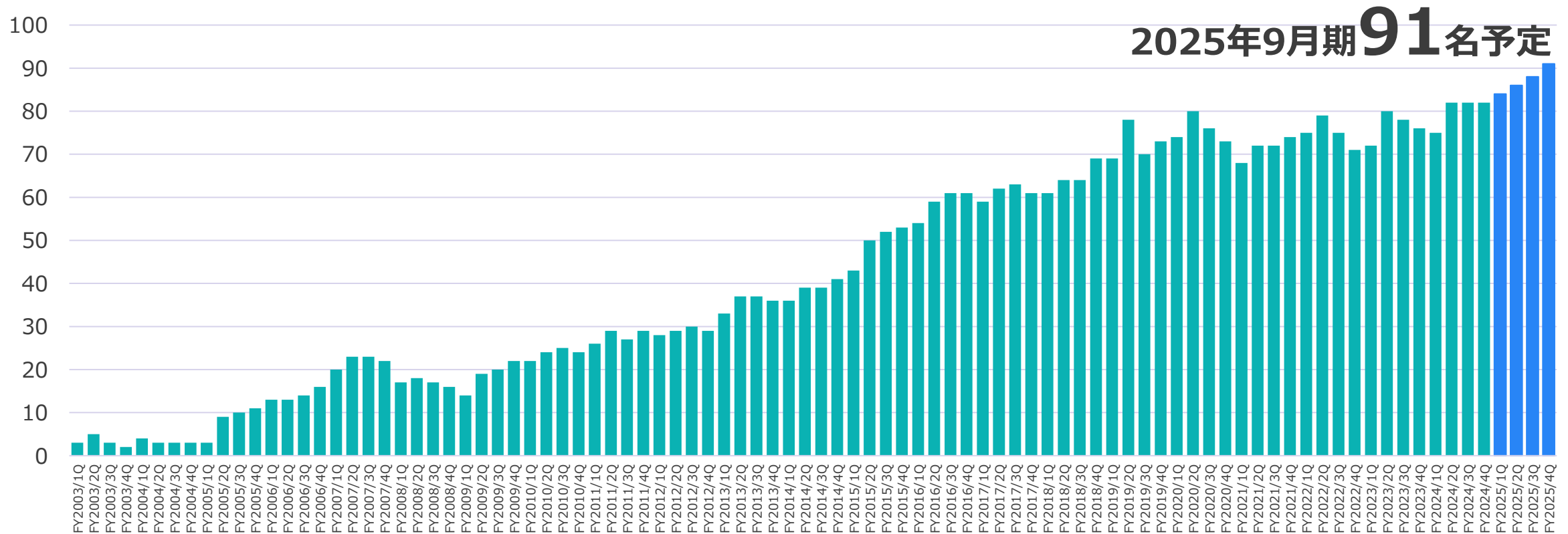
(単位：円)



	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期 通期計画
配当割当総額 (決議ベース)	33百万円	44百万円	66百万円
配当額/株	6円	8円(中間4円/期末4円)	12円(中間6円/期末6円)

# ● 人材戦略

- 人的資本の拡充、2025年9月期において9名増員計画。
- 技術職を中心とした増員。
- 人材育成の拡充。（社内検定制度、新人教育等）



2025年9月期 第1四半期

# トピックス

# ● System Answer G3の価格改定

- 2024年12月より物価高騰や人件費上昇など、外部環境の変化に伴い価格を改定。
- 価格改定後の新規受注および契約更新分の売上は、2025年9月期第1四半期から反映。

価格改定の適用開始日	価格改定の対象
2024年12月2日(月)受注分より	<ul style="list-style-type: none"><li>• System Answer G3 ライセンス</li><li>• System Answer G3-XC ライセンス</li><li>• System Answer G3 24時間365日サポート</li><li>• System Answer G3 Log Option</li><li>• System Answer G3 Stats Option</li></ul>

# ● 新たな機能の開発（AI技術）

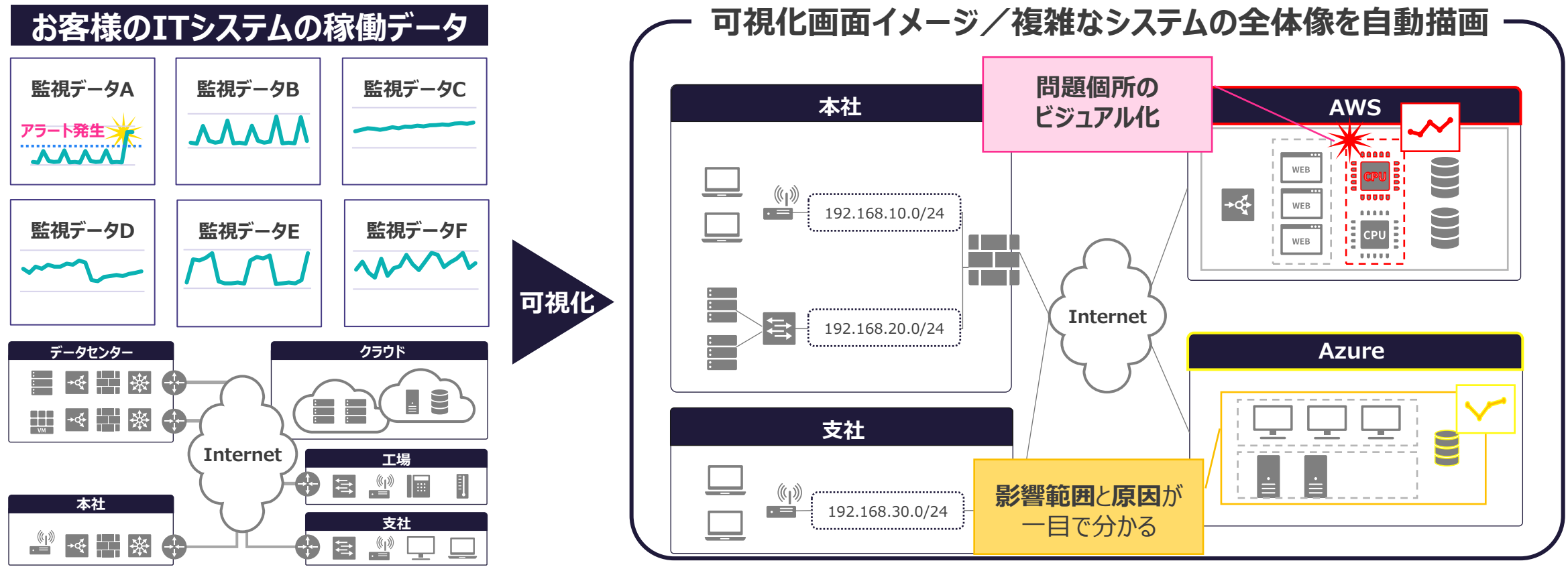
- 20年以上のノウハウを駆使し、AI技術で最適な解決方法を算出。
- 効率的な問題解決を実現。





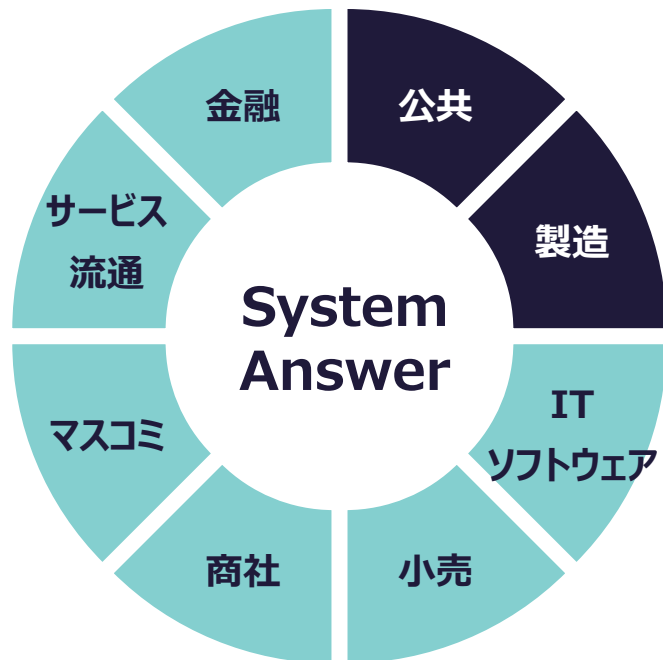
# ● 新たな機能の開発（マルチクラウド）

- マルチクラウド（Microsoft Azure、Amazon Web Services、Google Cloud Platformなどの併用利用）を可視化。
- 複雑なシステムの全体像を一目で把握し、業務の効率化をサポート。



# ● 成長市場へのアプローチ

- 当社製品は全業種にわたり需要あり。
- 成長市場での売上拡大と市場シェアの増加を目指す。



## 公共

### 文教

「GIGAスクール構想」で進んだ校務・学習のDX化。  
文部科学省も「ネットワークアセスメント実施促進事業」を推奨。

## 公共

### 自治体

改正自治法による自治体のDX化。国と地方のデータ連携最適化が求められ、急速に変化する自治体ネットワーク。

## 製造

### 製造

経済産業省は「スマートファクトリーロードマップ」を公開して積極的に推進。  
製造現場で急速に進むDX化。

# ● GIGAスクール構想はNEXT GIGAへ

- 教育DXの本格運用に向けて、課題（情報端末の不具合、ネットワーク遅延等）の解消が急務。
- GIGAスクール構想第2期（NEXT GIGA）で、情報端末の更新やネットワークアセスメントを実施。

G  
I  
G  
A  
ス  
ク  
ー  
ル  
構  
想  
第  
1  
期

## GIGAスクール構想（2019年度）

1人1台の情報端末（PC、タブレットなど）を全国の小学校と中学校に配備し、学校において新しい学びの形を実現するための構想を文部科学省から発表

## 環境整備（2020年度～2021年度）

校務・学習のDX化へ

小学校から高等学校まで、児童生徒1人1台情報端末や高速大容量の通信ネットワーク環境を整備

## 校務・学習のDX化の課題（～2024年度）

「情報端末の故障の増加」、「バッテリーの劣化」※耐用年数4～5年程度

「授業に一部生徒がアクセスできない」、「校務システムへの接続が遅い」、「生徒全員が一斉にネットワークに接続すると繋がりにくい」

第  
2  
期

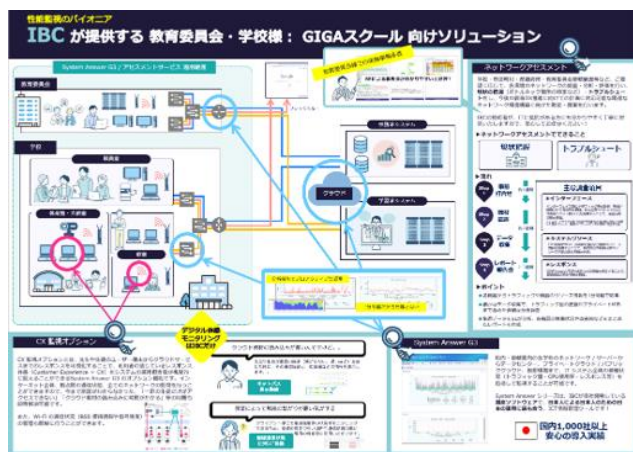
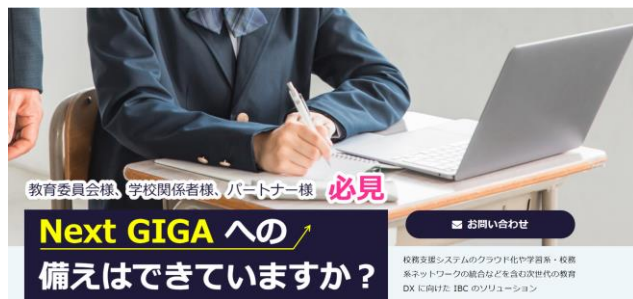
## NEXT GIGA 情報端末の更新・学校のネットワークの改善促進・支援（2024年度～）

整備した1人1台の情報端末の更新（劣化による入れ替え）

ネットワーク整備計画（情報端末更新の費用補助要件） → 学校のネットワークに対してアセスメント（調査・診断）の実施

# ● NEXT GIGAに向けた取り組み

- 教育委員会、学校関係者向けにNEXT GIGAの特設ページを開設。
- 創業以来20年以上培ってきた性能監視によるノウハウを駆使し、NEXT GIGAに備えるためのIBCの各種ソリューションを紹介。



### ① ネットワークアセスメント


性能監視のパイオニア IBC ならではのアセスメント


+



現状把握
トラブルシュート

### ③ ユーザー体感の可視化

CX 監視オプション による新たな監視




先生・生徒の  
「繋がりにくい」を可視化



### ② ネットワーク監視ツール

System Answer G3 で稼働状況を一元監視

校内・管轄圏内のシステム全体を把握することにより、専門知識不要で安定稼働を実現




### ④ 24365 有人監視サービス

監視運用をカスタマイズしてアウトソース

監視ツール開発メーカーとしてのノウハウを詰め込んだ安心のMSP\*サービス

\*監視運用業務を代行するサービス



## ● 自治体のシステムアンサー導入実績

- 都道府県への導入率は33%、政令指定都市（20都市）への導入率は40%。
- 自治体の運用担当者様だけでなく、自治体の運用管理を請け負っている企業様も活用。



### 採用理由

日本語UI、直感的な操作性、自社エンジニアによるサポート（電話・メール対応）。  
専門的な知識不要で利用可能。

# ● プライベート展示会「IBC DAY 2024」開催

- 2024年10月にプライベート展示会「IBC Day 2024」を開催。
- ユーザー様による事例セミナー、当社や協賛企業の最新製品・ソリューションの展示を実施。

## 目的

プライベート展示会を通じて、製品やサービスの紹介、ブランド認知度の向上、顧客およびパートナー様との関係を強化。製品の特徴や利点を直接伝えることで、顧客満足度の向上を図る。

### ■ 事例セミナー

IBCのソリューションをご利用いただいている5社様にご登壇いただき、各業種ならではの活用方法を紹介。



### ■ 製品・ソリューション展示

協賛企業の最新製品・ソリューションを展示。デモ展示があり、実際に触れることで操作感を体感。



# ● CSR活動 NPO法人AlonAlon訪問

- CSR活動の一環として、2012年12月に千葉県富津市にて就労継続支援B型事業所を運営するNPO法人AlonAlonを社員有志11名で訪問。

## ■ 支援活動の様子

胡蝶蘭の栽培過程において障がい者の方々が元気で明るく働く様子を見学すると共に、農場の雑草むしりを中心に支援活動を実施。



- このような活動を通して、社員 1 人ひとりが困っている人を助ける優しさを持った人格形成を図ると共に、今後も様々な活動を通じてSDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献する。

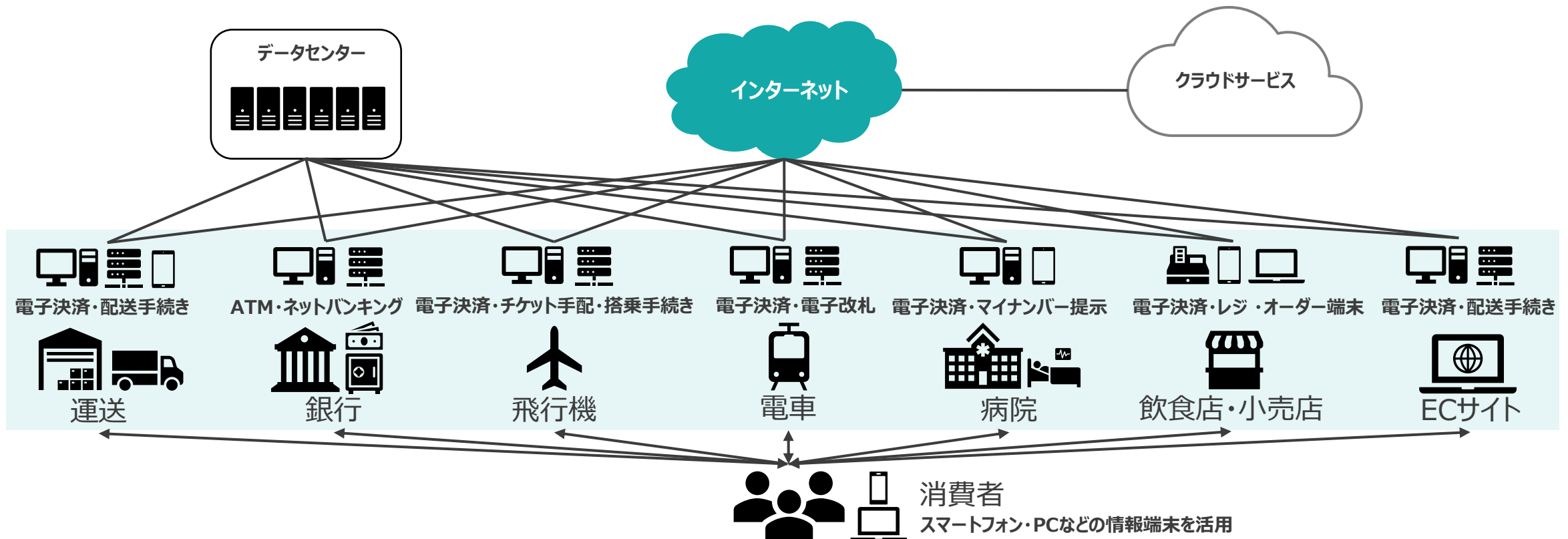
# Appendix



# ● ITで支える社会基盤

身近で欠かせないものには、今やほとんどITが使われている状況  
ITとは社会活動をバックヤードで支えるコンピューター基盤

- 事業者はサービス提供や商取引をするため、消費者は生活するためにITは必要不可欠。

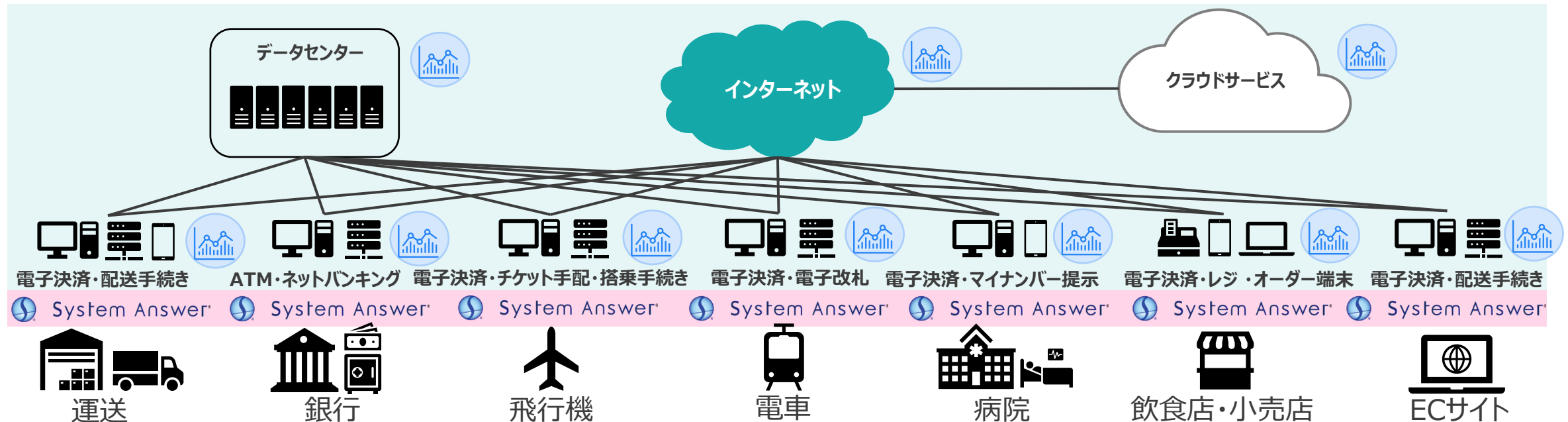


# ● ITシステム・ネットワーク監視の必要性

IT障害が起きれば、多くの人々の生活に大きな影響  
ITシステムは常に正常に稼働していることが求められる

- IT障害が起きると、銀行で預金を下ろせない、店舗で買い物ができない、公共交通機関を使えないなどの影響が発生する。
- 日常の当たり前の社会活動を止めないために、ITシステム・ネットワークを監視して、常に正常稼働させることが必要。

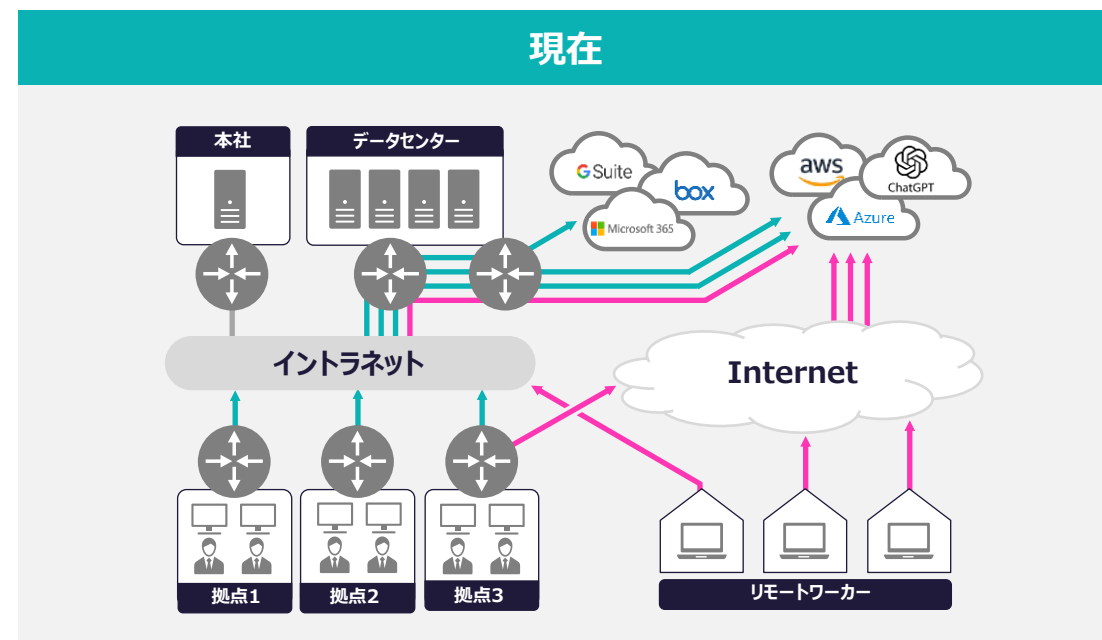
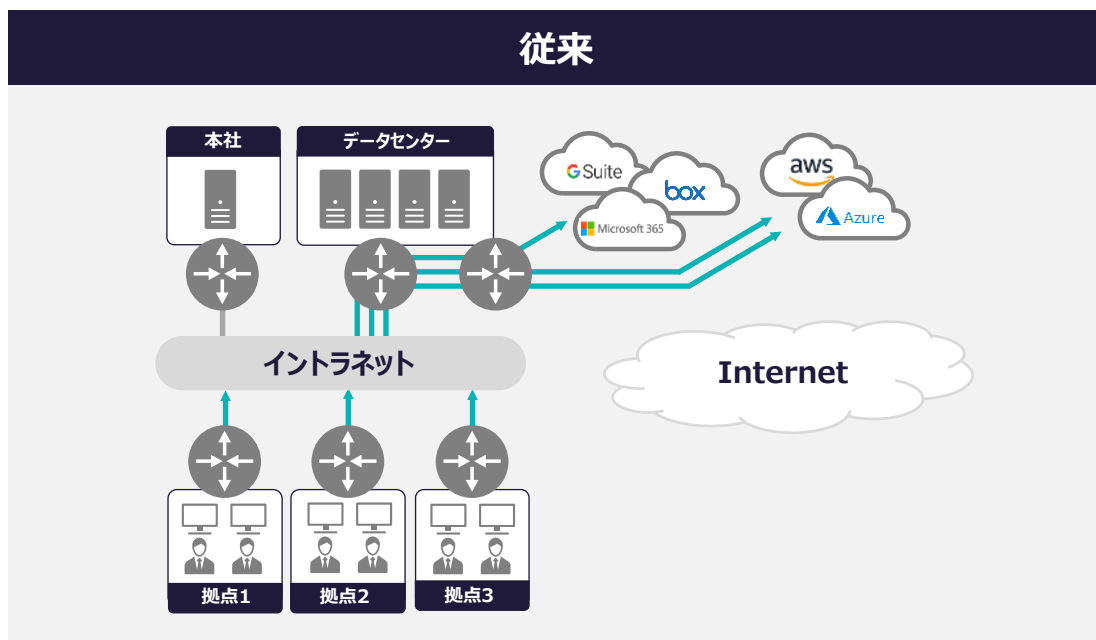
➤ システムアンサーは、ITシステム・ネットワークを監視し、社会基盤の安定化に貢献



# ● ITシステムを取り巻く環境の変化

## ワークスタイル・コロナ禍における企業内コミュニケーション手段の変化により企業のネットワーク環境が大きく変化

- デジタル化やデータ活用の進展、テレワーク、AIの普及で急速にネットワークのトラフィックが増加
- ネットワークの安定運用には、日常的にトラフィック量を監視し、ネットワークの帯域を圧迫していないか、ユーザーがストレスなく利用できているかを把握することが不可欠



# ● System Answer G3の「3つの強み」



1

## 検知から予防へ



「障害を未然に防ぎたい」というお客様の思いを**分析機能**で支援

一般的な監視システムは、異常の発生を**検知**し、調査や原因分析を行い、障害の迅速な対応を図る役割です。System Answer では、監視で得た情報を自動分析することで**「将来予測」**を行い、障害を**予防**するための機能を実装しています。

2

## 安定稼働を促進



問題のスピーディな解決と根本原因究明により**再発防止対策**に貢献

System Answer には、IBCが20年以上培った性能分析ノウハウを機能化した**「トラブルシューティングアシスタント」**が備わっており、お客様の障害復旧対応をサポートします。また、**「ダイナミックブックマーク（相関分析）」**をご活用いただくことで、潜在的な障害リスクの把握とその早期対策を実現します。

3

## カスタマーサクセス

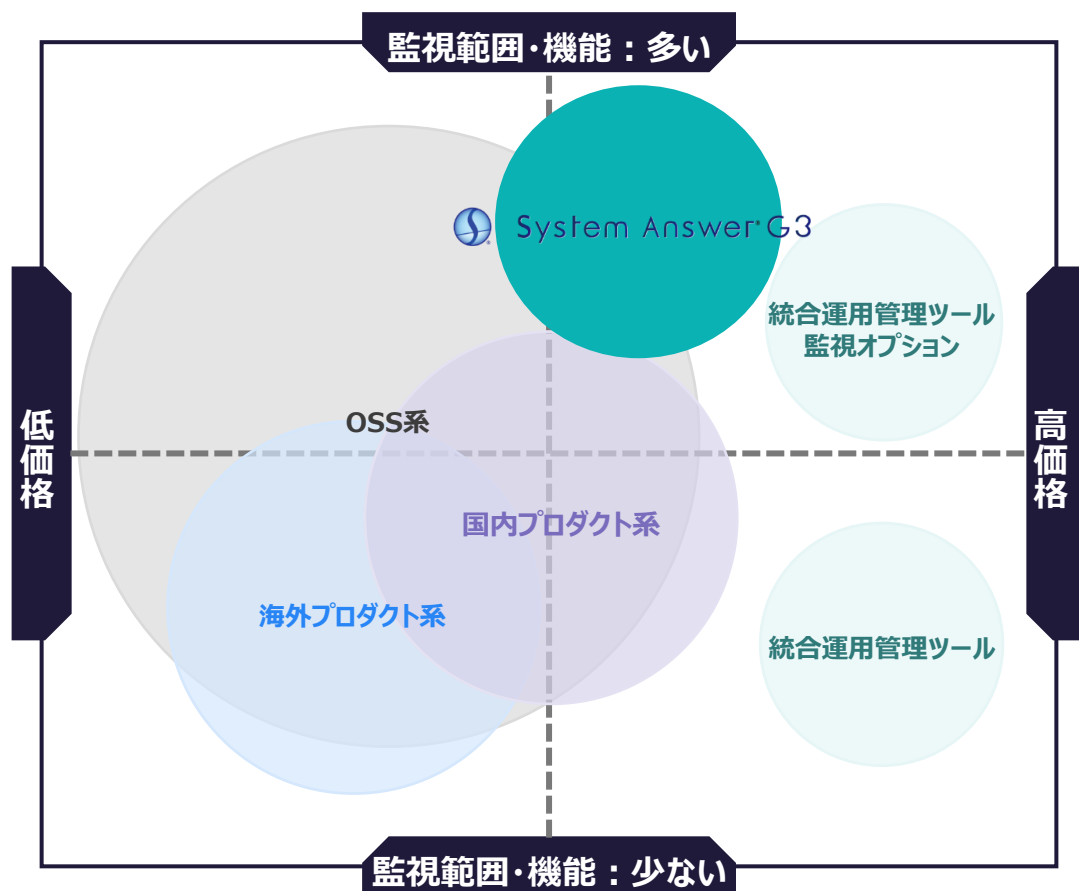



「要望の製品化」や「運用課題を解決するサービス」を通し、**安心と満足**をご提供

運用現場で**「本当に役立つ」**製品の開発を追及することが我々の誇りであり、プライドです。System Answerの**利活用支援**はもちろんのこと、お客様のシステム運用課題を解決する付加価値サービスをワンストップで提供しています。お客様に寄り添ったサービスを通し、システム運用業務の**「成功」**をサポートします。

# ● System Answer G3のポジション

各種分析、障害予防から将来予測まで可能  
マルチクラウド等を可視化できる国内で唯一の製品



障害予防	 <b>System Answer G3</b> <b>System Answer G3のカバー範囲</b>							
根本対策								
問題特定								
原因分析								
保守対応	<b>一般的な 監視製品</b>							
障害検知								
	死活監視	性能監視 モニタリング	しきい値監視	相関分析	傾向分析	変動検知	将来予測	レポート

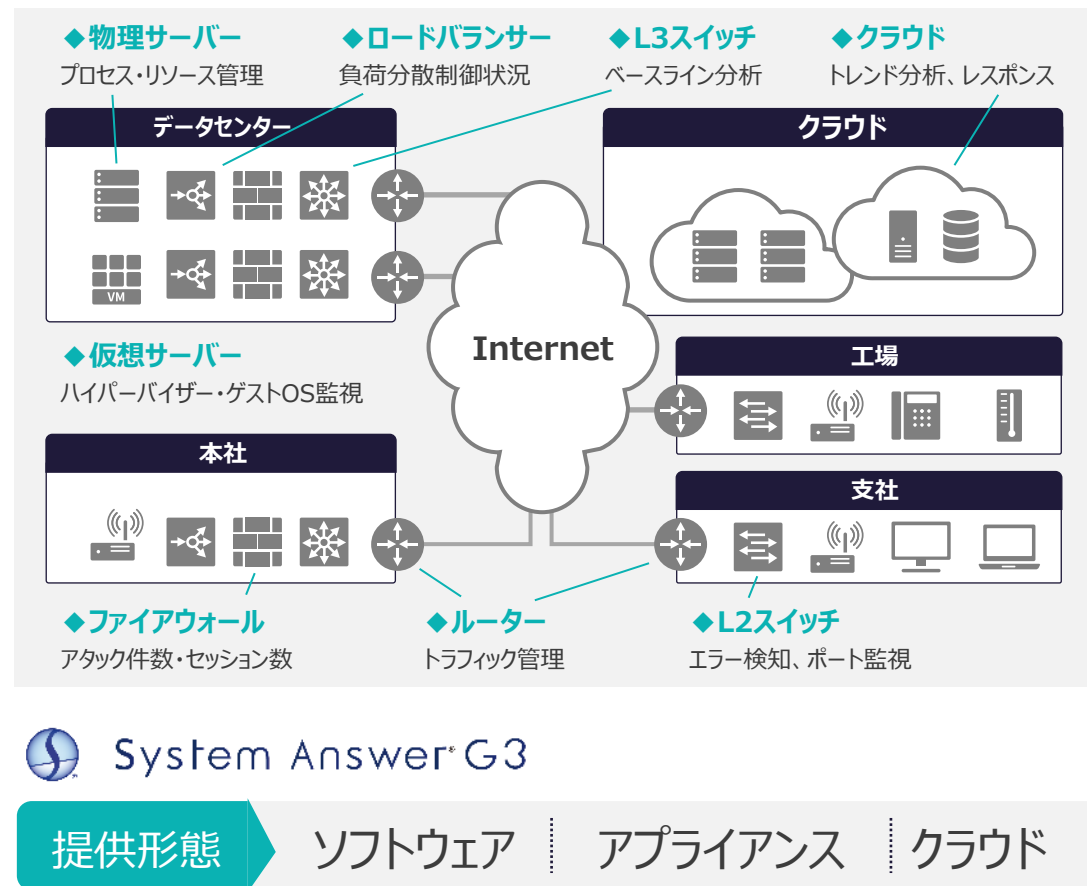
# ● 自社製品開発

## 時代と共に進化・複雑化するインフラ環境を一元的に監視可能 稼働状況の「見える化」のみならず、分析機能で「障害予防」の実現に貢献

～ 多様な監視方法 ～

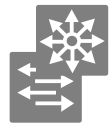
SNMP 監視	レスポンス監視
アプリ監視	ステータス監視
起動監視	Script 監視
API 監視	VMware 監視
WMI 監視	クラウド 監視
Web シナリオ監視	IPMI 監視

～ 柔軟な通知連携 ～



# ● 監視可能範囲

## 133社のベンダーに標準対応、国内ベンダーは約9割カバー テンプレート機能で詳細情報の取得が容易に可能



### スイッチ・ルーター

- APRESIA Systems
- Alaxala
- Alcatel Lucent
- Allied Telesis
- Cisco Systems
- Fujitsu
- Hp
- Juniper Networks



### ロードバランサー

- A10 Networks
- Citrix
- Fujitsu
- F5 Networks
- Nortel



### ファイアーウォール

- CheckPoint
- Cisco Systems
- Fortinet
- Juniper Networks
- Palo Alto Networks
- MacAfee



### 無線AP

- Aruba Networks
- Cisco Systems
- GoNet Systems
- ICOM
- Rucks Wireless
- Symbol

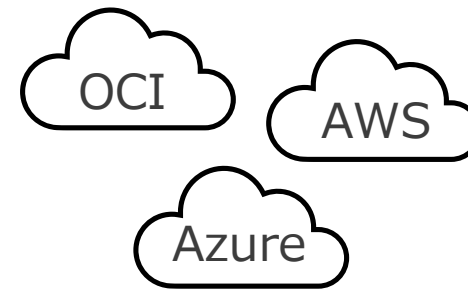
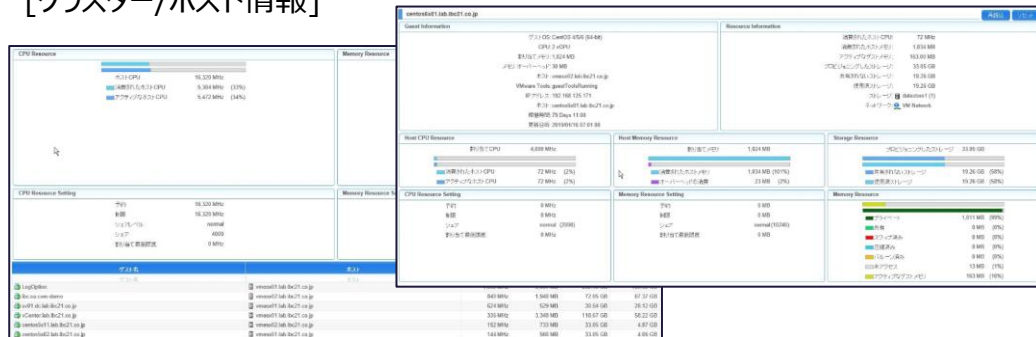


Vsphere API情報のテンプレート機能で  
**仮想基盤環境**の詳細情報の取得が容易に可能

クラウド基盤のAPI情報のテンプレート機能で  
**クラウド環境**の詳細情報の取得が容易に可能

[クラスター/ホスト情報]

[ゲストOS情報]



監視項目例(AWS)

- [EC2]
  - CPU Utilization
  - Disk IO Count
  - Network IO Size
  - Status Check Failed
- [EBS]
  -

# ● 監視間隔・将来予測

## 1分間隔で監視・データ取得し、最大5年間・非圧縮で保存 世界に先駆けて、障害発生 of 将来予測を実現

### 1分間隔での情報取得が必要な理由



#### 1分間隔で変化に気づける

5分や10分間隔では検知できない突発的な事象を捉えることが可能。



#### 将来予測などの高精度な分析の実現

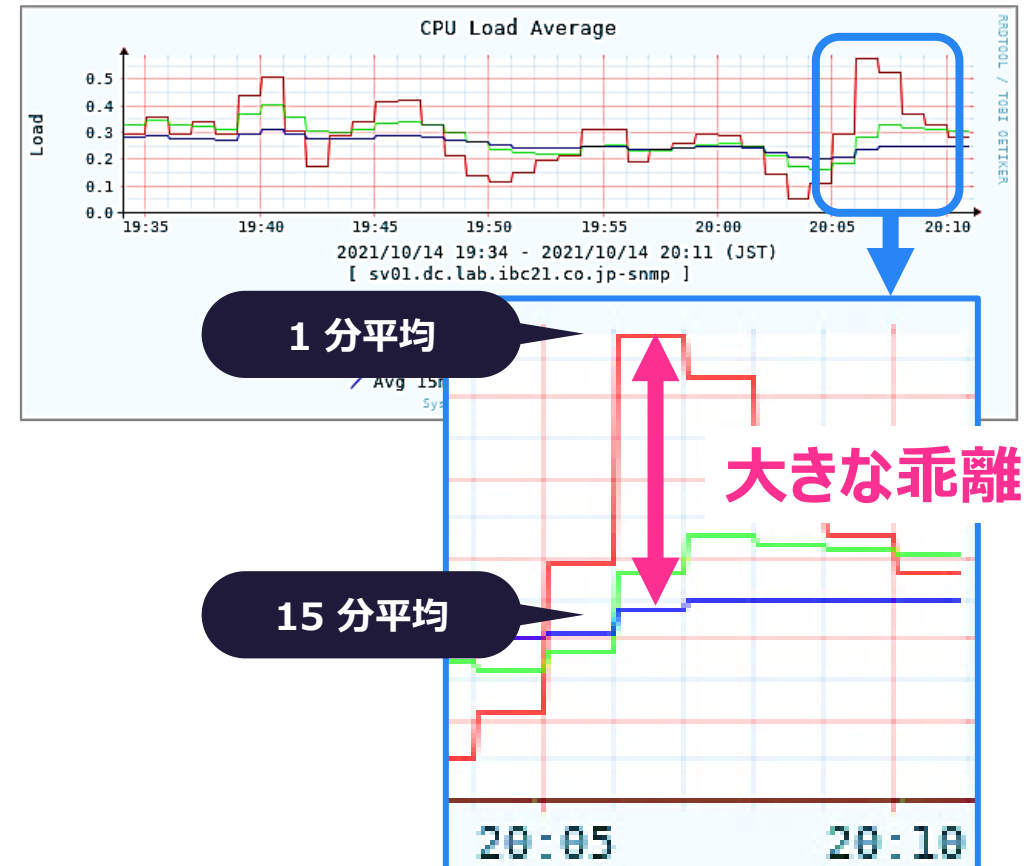
過去の詳細データを基に分析を行うことで、精度の高い分析をおこない、予防保守・予兆検知につなげる。

### 5年間・非圧縮での保存が必要な理由



#### 長期的な傾向を正確に把握

過去データが平均化されたり、一定期間経過したデータが削除されるツールやサービスでは、長期間の分析への活用は困難。





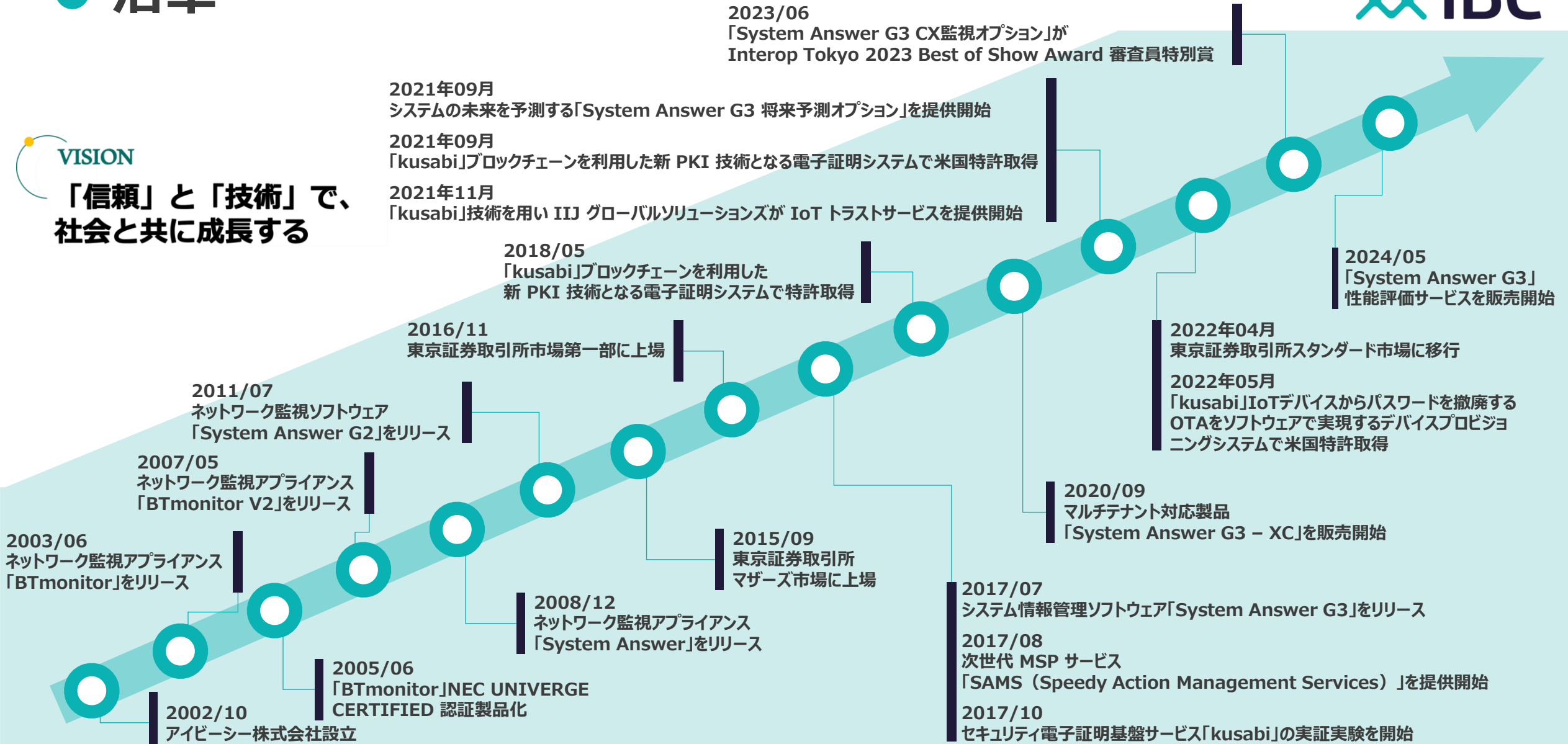
# 会社紹介

# 沿革



## VISION

「信頼」と「技術」で、  
社会と共に成長する



1

## ライセンス販売事業

ITを運用、診断、予防するためのソフトウェアの開発

---

2

## サービス提供事業

お客様のIT運用業務を当社が代わりに実施するサービス

---

2

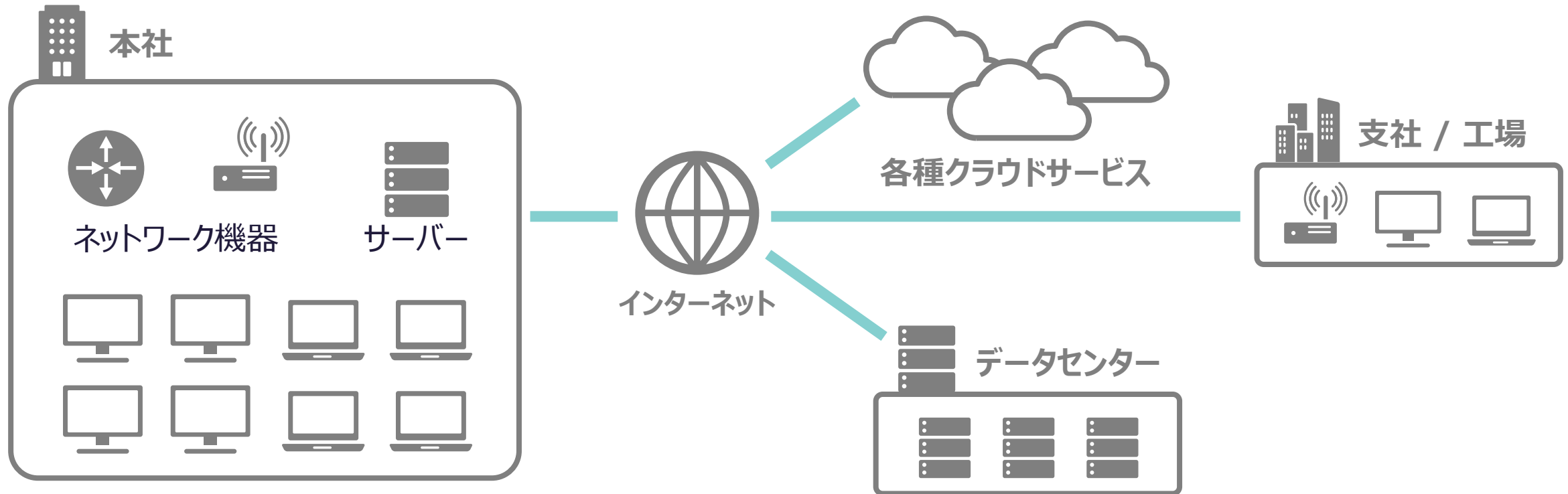
## その他物販事業

安心・安全なネットワーク、セキュリティ、クラウドを構築するサービス

---

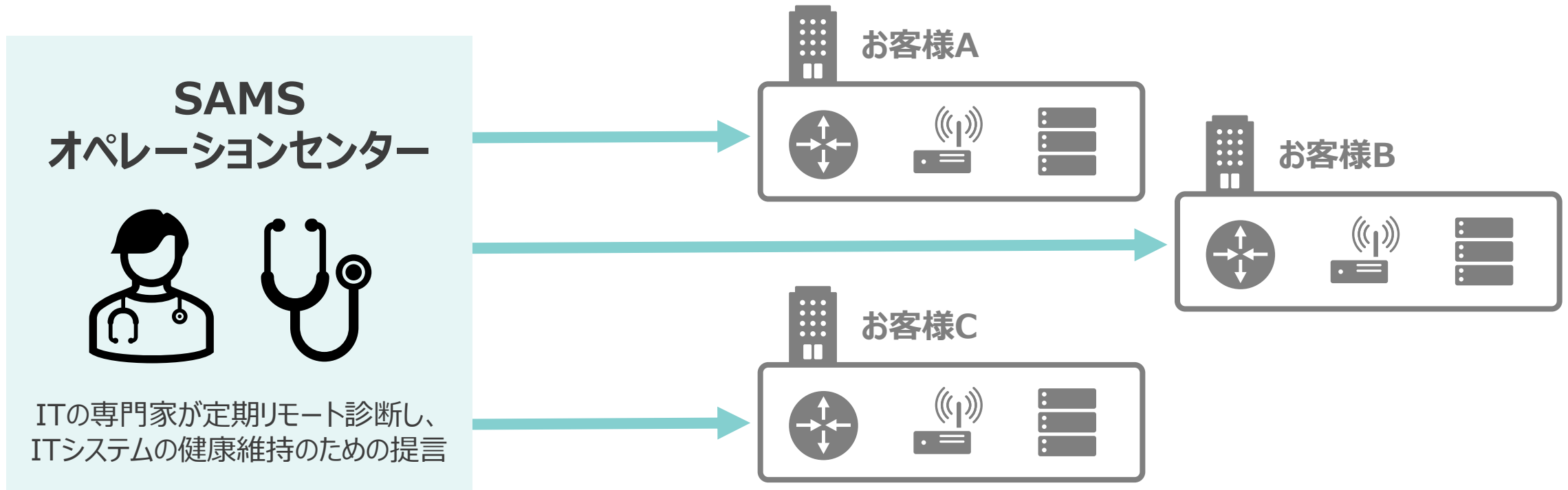
# ● ライセンス販売事業

お客様のIT環境（サーバー、ネットワーク、クラウド）の状態を一元監視する  
自社開発のIT運用管理ソフトウェア「System Answer G3」



# ● サービス提供事業

## お客様のIT運用をIBCが代わりに実施する運用マネジメントサービス 「SAMS (サムズ : Speedy Action Management Services)」



### お客様のITシステムの健康状態を熟知した専門家による 最適なシステム（ネットワーク構築、セキュリティ対策、クラウド移行）の提言と提供



- レスpons性が高いネットワーク
- 安心・安全なセキュリティ対策
- コストの最適なクラウド活用

➤ ソリューションサービスに付随した各種システム機器およびソフトウェア販売など

IBCの事業ミッション

IT障害をゼロにする



# ● 免責事項



## 【免責事項及び将来見通しに関する注意事項】

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関わる情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。

■ 本資料に関するお問い合わせ  
アイビーシー株式会社 コーポレートサービス統括部  
TEL:03-5117-2780  
<https://system-answer.com/contact/ir/>